

四中だより

上田市立第四中学校
令和2年(2020年)
6月1日(月)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の臨時休業期間があけ、本日(6月1日)より登校が再開されました。

令和2年度が始まり3日間(4月6~8日)登校後、再び臨時休業期間になった為にお伝えできなかった内容についてあらためてお伝えします。

令和2年度、4月6日には176名の1年生を迎え、2年生182名、3年生200名、全校生徒**558名**で新年度がスタートしました。学級学年開きが行われ、決意を新たに本年度の上田四中がスタートしました。



参加者(1年生と保護者のみ)で時間を短縮して行われた入学式。

令和2年度15名の新任の教職員

小出俊貴 先生…(鉢盛中より) 島田俊哉 先生…(更北中より)
宮崎 慧 先生…(更北中より) 龍野哲朗 先生…(第五中より)
都築由美 先生…(依田窪南部中より) 林 徹 先生…(東御東部中より)
田口秀俊 先生…(北御牧中より) 石川恭子 先生…(第三中より)
岩崎有里 先生…(新卒) 福永和輝 先生…(新卒)
青木萌香 先生…(講師) 北澤啓介 先生…(講師)
竹中久美子先生…(講師) 滝澤和代 先生…(事務 第一中より)
佐藤香澄(スクールカウンセラー) 先生



令和2年度学校運営方針スローガン 四中プライド「主人公として生きる」

上田市立第四中学校長 宮澤好一

自分の人生を、自分の力で切り拓いていくために、主体的に「ひと・もの・こと」に関わる生徒

1 はじめに 「主体性を育む教育の確立」

Society5.0を迎え、社会の構造が劇的に変化し、必要とされる知識も急激に変化し続けることが予想される中、学校教育に求められるのは、流行の最先端の知識や技能を追いかけるのではなく、むしろ学びの基礎を固めることではないかと感じています。生徒には、自分の良さを知り、夢や希望を抱きながら人生を切り開いていって欲しいと願っています。台風や新型コロナウイルス感染のような災害だけでなく、世の中がどのように変化していくのか全く予測ができません。少し前までの社会の仕組みは、ごく一部の人が、企画立案し、構想や計画を立て、多くの人は、言われたことを言われたように速く正確に実行・生産することで成り立ってきました。しかし、これからの時代は、実行や生産は機械やロボットが行い、人は、企画立案や構想計画を立てることが仕事の中心となります。そうすると大事なことは、言われたことを言われたとおりにやるのではなく、自分で考え、自分はどうかあるべきかをその場その場で判断していく力です。学校の役割は、そんな時代を生き抜いていく力を身につけさせていくことであると思います。そのために、主体的に、「ひと・もの・こと」に関わりながら、自分の考えをしっかりともち、適切に判断をしていけるような素地を培っていきたくと考えています。

(1) 生徒が主体的に学ぶ学習環境

① 単元テストの導入

生徒たちにとって従来の定期テストは、テスト前に、部活動を中止して学習時間をとるなどして、そのテストの「点数を取るだけのもの」になっている傾向が強く見られます。生徒は、定期テスト後に学習の定着状況を確認するために、理解が足りなかった部分が後から明らかになり、学習が遅れていく傾向も見られました。そこで、「学力の定着を図る」ために、単元終了後に「単元テスト」を行い、いち早く生徒のつまづきに対応できるようにします。生徒には、再テストにチャレンジできるようにし、すべての生徒が単元内容を確実に習得し、前に進めるようにしていきたいと思えます。1、2学期に行われていた中間テストを廃止し、単元テストと期末テストで評価し、学力の向上を目指していきます。

② 四中アカデミー

地域と一体となって生徒の育成を図ることが求められています。「地域の育つ生徒は地域全体で支援する」というコンセプトのもと、「学校という狭い社会」から「地域へ」、つまり、「教師のみ」が指導に携わる学校から、教師とは異なる知見を持つ各種団体や企業人をはじめとした「様々な地域住民等」と連携・協

働していくことが大切だと考えています。そこで、本校の教職員と共に、地域の企業人、地域の教員OB、地元大学生が講師となって進める学習の場「四中アカデミー」の開設をすすめます。

(2) 生徒が主体的に考える場

① 学年指導体制の強化(チーム支援)

「四中生全員を全職員で支援する」「学年の生徒は学年職員全員で支援する」というチーム支援を強化します。副担任は朝・夕の学活、給食指導・清掃指導を、担任と共に行い生徒の支援にあたります。また、学年職員をローテーションし、道徳・学活等の授業も行えるように考えています。

② 四中クリエイティブタイムの導入

水曜日の清掃をやめ、40分間の時間を生み出し、生徒が自分たちの活動を主体的に企画運営していく場を設けます。生徒会活動・集会活動・交流活動・フリータイム等に活用できるようにしていきます。

私たち教師は、底辺や側面からその活動を支援し、生徒が主体性や創造性を伸ばし、四中プライドの高まりを実感できるようにし、誰もが自分らしさを大事に出来るような学校づくりに努めていきます。

臨時休業期間(4月9日～5月29日)中の学校生活や授業の様子



◇臨時休業中の課題の受取(確認)・受渡を広い廊下です(五月十三日)。



◇準備登校の8、10、11時(五月十五日)が、生徒の生活リズムを整えるため、授業の開始時間を前倒しし、午前8時から授業を行います。



◇学年ごとの分散登校(五月十日)クラスの前・午後の生徒が午前・午後の2班に分かれ週3回に分けて登校し、2日3時間授業を行いました。(五月十日)



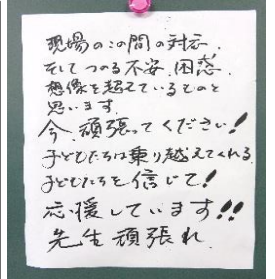
◇上田市教育委員会の子供たちの様子を見に来られました。(五月十五日)



◇入り口が1カ所しかなく、先生に2カ所に修繕してもらいました。(閉じたままだった西側生徒昇降口の側を開閉可能にして、密閉の状況を少し減らしました。)



◇教室入り口(入退室時に消毒する習慣を身につけます。)



応援メッセージありがとうございました。



「先生方で使ってください」と、手作りマスクを保護者の方からいただいたと報告がありました。また、「ヤナギダグループ、創生ワールド、東京特殊電線、県国際音楽実行委員会」の皆様より沢山のマスクのご寄付がありました。生徒に配付し使わせていただきます。また、地域の方より「応援メッセージ FAX」が届きました。大変ありがとうございました。

緊急事態宣言の解除により学校は再開しましたが、ニュースや紙面ではこれからも2回目、3回目の感染拡大の可能性があると報道されています。ご心配な点やご要望がございましたら遠慮なく学校まで連絡をお願いします。

本年度より、夏場の制服としてポロシャツを採用します。(PTA理事会の承認を経て、PTA会長様の同席のもと業者選定を行ってきました)近年の夏の気候は、猛暑続きで「熱中症」の心配が常にあります。そんな夏場に、少しでも生徒の健康面を考えての採用です。このポロシャツは、通気性がよく速乾性です。生徒が家に帰ってから、自分で洗っても、翌朝には乾きます。そんな点から重宝するのではないかと思います。もちろん、夏場の制服は、従来のYシャツやブラウスでも構いません。希望する生徒たちはぜひ着用して夏場を乗り切って欲しいと思います。(衣替え移行期間は～6/5までです。)

